

健康食品・化粧品試作開発等技術支援事業

—青森県産素材オオヤマザクラ果実エキスの美容機能性に関する研究—

Technological support with the development of health foods and cosmetics

-Research of cosmetic and dermatological function in extracts of *Cerasus sargentii* -

岩間直子・北村裕志*¹・河合貴弘*¹・阿部馨*²

(*¹ 六花酒造株式会社・*² 現所属：公益財団法人 21 あおもり産業総合支援センター)

本事業は、より付加価値の高い健康食品・化粧品開発に取り組む生産事業者への技術支援によって、プロテオグリカンをはじめとする県産素材を利用した製品開発を加速することを目的としている。その中で我々は、青森県産素材の一つであるオオヤマザクラ (*Cerasus sargentii*) に着目し、化粧品への利用について研究開発を行っている。今回は皮膚に対するオオヤマザクラの果実の抽出エキスの抗酸化ストレス等美容機能性とプロテオグリカンとの併用効果について評価を行い、アンチエイジング化粧品素材としての有用性を検討した。

オオヤマザクラ果実の抽出エキス (以後、オオヤマザクラエキスとする) について比色分析による各種活性酸素消去作用評価を行った結果、過酸化水素とスーパーオキシドアニオンに対する消去作用が何れも見出された。一方、ヒト表皮角化細胞 HaCaT keratinocyte を用いた評価では、オオヤマザクラエキスの添加によって細胞内過酸化水素量の減少と、さらに過酸化水素や紫外線 (UVB) 曝露による細胞傷害に対する緩和作用が認められたことから、オオヤマザクラエキスが皮膚酸化ストレス抑制効果を有することが明らかとなった。また、ヒト表皮角化細胞と真皮繊維芽細胞を用いた評価系において、オオヤマザクラエキスに細胞外マトリックス分解酵素 MMP-1 産生抑制作用が見出され、皮膚のシワ形成防止に有用であると考えられた。

以上の結果から、オオヤマザクラエキスは、UVB 等によって誘導された細胞内活性酸素による皮膚酸化ストレス及びシワ形成を抑制する効果があり、皮膚のアンチエイジングに有効な素材であると考えられた。

